

フォーラム「アジアの若いオストメイトの連携をめざして」

「若いオストメイトは、さまざまな困難を抱えて社会復帰をしています。職場でも家庭でも働き盛りで重要な立場です。そして家族、仕事、自分のためにと前向きにがんばれるのもこの世代です。

しかし人間関係で悩み多いのもこの世代。恋愛、結婚、妊娠、出産にはとまどいもあり、また『ストーマ造設後のパートナーとの関係について』は相談しづらく、不仲、離婚などに発展するケースもあります。

若年層ならではの問題を海外の方々々と率直に話し合い、自分の中の消極性に打ち克って、より豊かなパートナーとの関係を築き、社会での良好な人間関係を保てるような話し合いの場にしたいと思います。

参加の皆様方の経験談と積極的な意見交換を希望します。」

■ 上記趣旨のもと、「第6回AOA東京大会 2008」の2日目11月15日（土）に、ユースフォーラムを開催いたしました。参加者は223名。対象の若い方の参加は少なかったものの、講演者、パネラーの皆様方の熱い想いと意気込みが伝わったフォーラムになりました。

■ 講演1は、AOA20/40グループ代表OAP（フィリッピン）事務局長のロナルドSローラさん。ロナルドさんの話は、「20/40グループデスクの設立」と題し、若いオストメイトがつながることこそ大切、コミュニケーションの重要性をお話くださいました。説得力のあるお話でした。ロナルドさんの表現は、20/40は自分が若いと思っている人、昔若かった人と大きく括ってくださいました。その言葉、心の広さを日本の若い私たちは学びました。

■ ET/WOCの三木佳子さんの話は、「ストーマ造設後のパートナーとの関係について」と題し、オストメイト自身悩んでいても、日常なかなか言葉にはできないことをお話してくださいました。

お聞きいただいた皆様方には、多くの「気づき」があったものと思います。

■ その後のパネル討論では、「アクティブに前向きに生きるために」と題し、座長に梶原睦子ETさん、パネラーには、ロナルドさん、TOF（タイ）のアカリヤ・サマプートラETさん、埼玉県支部の日野創さん、兵庫県支部の工藤裕美子さんをお願いし、体験談と具体的な事例をお話いただきました。

オストメイトの結婚、出産が増えているといううれしい報告もあり、幸せな話に「元気」をもらえました。また、パネラーの方々のお仕事の話でも、「勇気」をいただき励まされるものがありました。

■ このフォーラム全体を通して、“伝えることの大切さ”を再確認いたしました。

オストメイトである自分をしっかり見つめ、言葉にできない想いも、悩みも、ストーマも、あるが

ままの自分を抱きしめ、今、こうして命あることを喜び、パートナーとの関係に、そして社会生活に、前向きに、アクティブになっていただけることを願い閉会となりました。

■ このAOA大会で、同時通訳、インターネットの翻訳機能を使えば、海外の方とも、お話できることに、心震える体験をいたしました。

ロナルドさんのお話、アカリヤさんのお話、様々な取り組みを聞いてとてもよかったです。

これを機会に、積極的に、海外のオストメイトの方々とも、情報交換をし、連携し、つながっていきたいと思います。

若いオストメイトの皆さん、エンパワーメントを持ち、リーダーになるパワーを持ちましょう。

(常務理事 山根 則子 記)